

## 科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

158

### 設備投資強化

0万円)」—などだ。  
支援のための申請や手  
続きを簡素化すること  
も重視している。

2022年に入り、

フランスが製造部門の

スタートアップ支援に

本腰を入れ始めた。1

月、政府が23億円規模

の支援計画を発表し

た。官民双方から投資

を強化し、電子機器や

化学製品の工場建設と

いった大型の設備投資

の支援を手厚くするこ

とで、国全体の生産力

を中長期的に高めたい

と考えた。

今回の計画で目玉と

なるのは「特に優れた

技術を持つ工場への工

クイティ投資（10億

円）」「初めて工場建

設をするプロジェクト

への融資（5億500



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター 内田 遼

慶應義塾大学経済学部卒業。読売新聞記者などを経て、2022年1月より現職。主にフランスの科学技術イノベーション政策の調査を担当。

# 仏、新興製造業に23億ユーロ

毎年選抜し、公共投資する」ために、製造業を受けた。

銀行が優先的に融資すること自体が「最

るなどの施策を行ってもリスクと認識され

いた。結果、ロボットシステム分野で「エグ

ジテック（EXOTE）への設備投資の支援が

2022年に入り、支援のための申請や手

続きを簡素化することも重視している。

スタートアップ支援に

もともとフランス政

府はスタートアップ支

援に熱心で、13年には

起業家らが自由に参加

できる支援組織「フレ

ンチック」を設立。

とした報告書は「工場

を建設すること自体に

さまざまなリスクがあ

落ち込むなどの打撃を

ンスには現在製造業の

スタートアップが約1

00億円規模の企業減

500社があり、うち約

経済的な成長につなげ

税を中心とする緊急経

済対策をすでに実施

し、財政的な余力がほ

どんど残されていない

い。事実、今回の支援

スには現在製造業の

スタートアップが約1

00億円規模の企業減

500社があり、うち約

経済的な成長につなげ

税を中心とする緊急経

済対策をすでに実施

し、財政的な余力がほ

どんど残されていない

い。事実、今回の支援